



当社グループのSDGs取り組みが事例カードとして採用！

「京阪神版 SDGsボードゲーム」完成のお披露目会を開催

大阪・関西万博に訪れる若者や地域の学生がSDGsを学ぶきっかけをつくる

このたび、社内公募型の未来創造PJが中心となり、ヤギグループが展開するオーガニックコットンの取り組みなど3つの事例が、「京阪神版SDGsボードゲーム(※)」の事例として採用されました。当ボードゲームは、関西学院大学SDGs推進本部公認の学生団体「KG SDGsキャンパスサポーター」の学生と、(一社)未来技術推進協会、協会認定ファシリテーターの杉田氏らとの協働で制作されたものです。

発案に賛同した京阪神の地元企業や団体が参加し、京阪神エリアや、大阪・関西万博に訪れる若者に、SDGs事例を学んでもらうことを目的として、約2年をかけ今年1月に完成しました。

SDGsへの取り組み事例を知ってもらい、企業訪問のきっかけにするなど、探究学習に使うことを目的としています。企業研修などでも使用されており、SDGsや地域での取り組みへの理解を深めることができる仕様のボードゲームです。



■京阪神版SDGsボードゲーム※

(一社)未来技術推進協会(所在地:東京都千代田区、代表理事:草場壽一)が製作したSustainable World BOARDGAMEが2019年にでき、3年前からは都道府県版も作られています。京阪神版は当社の事例を含めた96の事例が収録されています。



一般社団法人未来技術推進協会
<https://future-tech-association.org/>



SDGsボードゲーム
概要



当日のメインファシリテーターを務めてくれた関西学院大学学生の笑顔がとても素敵なお二人だった、永本さん(右)と河合さん(左)お二人のファシリテーションで会場は絶えず笑い声や和やかな雰囲気でした。



4月3日には、大阪本社の八木ビル(大阪市中央区)の5Fにあるやぎカフェを会場とし、作成に参加した企業や団体、学生、関係者を中心に、SDGsボードゲームのお披露目と体験会が開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、会場には参加申し込みをくださった皆さんが駆けつけてくださり、ファシリテーターを含めて、38名で開催。メインファシリテーターの学生2名からSDGsの基礎知識とゲームのルールを学んだあとに、各テーブルごとに、完成した京阪神版SDGsボードゲームを楽しみました。



上級ファシリテーターの杉田さんの講習と認定試験を受けて、当社も新たに2名のSDGsボードゲームのファシリテーターが誕生。大阪2名、東京1名の3名体制になりました。



探究学習支援

「実際の事例が、どのようなSDGsに関連しているのかがわかりやすかった」、「こんな活動が京阪神エリアで行われているの知らなかった」、「企業訪問できるカードもあるので、興味があるところに実際に行ってみたい」というゲーム内容への感想とともに、「普段自分が関わらない業界や仕事の人と会えて、楽しかった」、「何かを一緒にやってみれないか、という次のアクションの話ができた」という異業種交流会ならではの感想もいただきました。

当社はこれからも、地域、社会や学生と関わりあって、社会全体のサステナビリティ推進に繋がる活動を続けてまいります。